

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の方針 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします
3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆ たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

こりす 2歳児クラス便り

令和5年4月11日

文責 大角 千代美

新年度の始まり

～進級おめでとうございませう～

今年度のこりす2歳児組は7名での出発となります。

昨年と同じ居室での生活に戸惑う姿はなく新しく準備されたロッカーや靴箱の位置も覚え、朝の身支度も張り切って行っています。わからない事があると「これは、どこ？」「これは、どうするの？」と以前に増して積極的に話す様になりやりとりが楽しくなってきました。月齢の低い子も言葉では上手く伝えられない事は身振り手振りで伝え、こちらの話は確りと聞いて行動する姿があります。先月まで2歳児が使用していたままごとでごっこ遊びを楽しみ、横から1歳児が手を伸ばしてくると「だめ、今、使ってる」「取らないで」と意思表示を行い、進級した喜びを感じながら集って遊んだり、着替えや給食の準備など自分で考え、自分でやろうとする姿が見られ頼もしさを感じられます。先日は給食に遅れた友だちのランチョンマットや椅子を誰かに言われたわけでもないのに準備してあげる子の姿が見られ仲間意識ができている事に嬉しさを感じました。一年間を通して沢山の経験をし、かけがえのない時間を子ども達と共有しながら、園生活を通して子ども達一人ひとりが自律と自立をめざし活動しながら「保育園はおもしろい」「また、明日も行きたい」「保育園大好き」と感じてもらえるように毎日楽しく過ごしていきたいと思ひます。園生活の中で子ども達が困っているとすぐに手を貸してしまいがちですがそうした行動が子ども達のやる気や子ども達の力を伸ばす機会を奪ってしまわない様に子ども達を信じ、子ども達に任せる事を念頭におき保育を進めていきたいと思ひます。子ども達一人ひとりの権利をしっかりと保障し、子ども達の思いに寄り添っていけるように努めていきます。

新年度ということで、何かとお忙しい時期だと思ひますが子ども達が元気に楽しく登園できる様に早寝、早起き、朝ごはん等の生活リズムの安定に引き続き、ご協力をお願い致します

☆毎日準備して頂きたい物☆

紙パンツ（体調に合わせて）2枚～3枚 靴下2～3足 汚れ物入れ袋1枚

使用後の紙パンツ入れ袋1枚 靴は登園用と保育園用を準備下さい。

昨年度までは園用の靴を準備しておりましたがお下がりの靴は前に履いた子の足の形ができていてその子に適した靴ではなく歩行に支障が生じる為に自分の靴の準備をお願い致します。

【お願い】

まだまだ先の事ですが雨天時（少量の雨）にも散歩に出かけ、晴天時との違いを体験したり生物の観察など計画しております。買い物に出かけられた際に合羽（ポンチョは除く）を見つけられた時は準備をお願い致します。ポンチョは手が使えずに不便で危険が伴うので合羽の購入をお願い致します。もしか組に進級すると飼育当番（雨天時）でも使用します。

苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 榎並 理恵 解決責任者 園長 中根 賢誠

第三者委員 丸田瑞穂（099-482-2927） 横峯友里子（099-474-1851） 山口 和美（090-5473-5866）

